

People Tree

会社案内 2022年





家族と暮らし、希望にあふれたつくり手たちが
自然に無理なく育てた天然素材を用い
その土地に伝わる伝統技法を活かし
人にも環境にも健康的な方法で、ものをつくる。

フェアトレードのアイテムは、
そんな幸せな背景を持って生まれてきます。

世の中にあふれるものがすべて、そうした商品だったら。
私たちが、心から気持ちよい毎日を過ごせるでしょう。

おしゃれな服、かわいい雑貨、おいしい食べもの。
日々の暮らしを楽しむ中で、みんなが幸せになれる選択肢を提供する。
それがフェアトレード専門ブランド、ピープルツリーの事業です。



人も木も地球に生きるすべてが
フェアに暮らせる世界へ

フェアトレードチョコレートが 「ソーシャルプロダクツ・アワード2017国際部門大賞」を受賞!

「ソーシャルプロダクツ・アワード(SPA)」は、一般社団法人 ソーシャルプロダクツ普及推進協会が行う、環境や人・社会への配慮である「社会性」も兼ね備えた商品・サービスの普及・推進を目的に設けられた、日本で初めての表彰(推奨)制度。

ピープルツリーでは、フェアトレードチョコレートの他に、リサイクルサリーシリーズ、ウエディングドレスも「ソーシャルプロダクツ賞」を受賞し、同アワードで初となる3シリーズ同時受賞を果たしました。



発売21年で1,293万枚売れた、 フェアトレードチョコレート

今や、ピープルツリーの名刺代わりとなっているフェアトレードチョコレート。パッと目を引くパッケージと美味しさに、たくさんのファンがいます。

こだわり



- 1 ポリビアのカカオ豆やフィリピンの黒砂糖など、フェアトレードの原材料を使って、スイスの小さな工場ですべてつくられています。
- 2 カカオマス、ココアバター、砂糖を最大72時間練り上げてチョコレートにします。乳化剤不使用なので、安心です。
- 3 植物性油脂を使わず、贅沢にココアバターのみを使用しているため、極上の口どけを実現。温度に繊細でとけやすいので、寒い時期限定の販売です。

カカオの苗木を生産者さんにプレゼント

2013年から、カカオの苗木をプレゼントするキャンペーンも実施。世界的な異常気象の影響でポリビアでは洪水があり、そこで発生した病害虫の被害によってカカオの収穫高が落ちています。お客さまから送られたカカオポイントによって、これまで5,637本の苗木をプレゼントしています。(2017年5月集計分を含む)

【審査員評価】フェアトレード&オーガニックでも十分なソーシャルプロダクツだが、それにとどまらず、廃棄ロスの削減(セカンドハーベストジャパンへの寄付等)やカカオの苗木寄付の取り組みなど、その複合的な社会的取り組みは類似の商品と比べても高いレベルにある。実際に多くの人たちに手にとってもらうことで、支援の実績を積み上げてきたことも高く評価したい。



©Miki Alcalde



アップサイクルして、 新たな価値を創造

毎年、まとめ買いをするお客さまがいるほど大人気の「リサイクルサリーシリーズ」。インドやバングラデシュの女性が身にまとう民族衣装のサリーをアップサイクルしたものです。現地の人びとにとって古くさい纏いものというイメージだった古着のサリーがファッションアイテムとして生まれ変わり、日本で大人気を博していることに、つくり手は新鮮な発見と誇らしさを感じたと語ります。現在では洋服だけでなく、帽子やバッグなどのファッション雑貨、インテリア雑貨などさまざまなアイテムが生まれました。

【審査員評価】生産地にある資源に光をあて、アレンジしながら再利用することで、伝統的な技術の継承、環境配慮を実現している。伝統的な素材のアップサイクルとフェアトレードは理想的な組み合わせのひとつである。



みんなが幸せになれる 「エシカルウエディング」のススメ

ピープルツリーでは、「エシカルウエディング」を提案します。人生最高の日に、二人の幸せを式の参列者だけではなく、ドレスをつくっている人たちにもおすすわけ。ウエディング・ドレスを1着お買い上げいただくごとに、10,000円をドレスをつくった生産者団体に寄付しています。

【審査員評価】フェアトレード認証を取得して満足するだけでなく、フェアトレードにおいて重要な双方向の理解を深めるための機会づくりや、ユーザーに情報を発信してもらいやすくするためのコンテンツ提供など、フェアトレード商品を開発・販売する企業が学べる点も非常に多い。



「ピープルツリーとは？」

ブランド名に込めた想い

People Tree

「人」は、つくり手（生産者）であり、お客さま（消費者・売り手）であり、ピープルツリーのサポーターの方々……地球上のすべての人たちを表しています。「木」は、人にとって最も身近な自然のひとつでもあり、自然環境や生態系を象徴するもの。人も木も、地球上の生きとし生けるものが調和し共生できる、フェアでサステナブルな世界をともにつくっていききたい、という想いを込めています。

衣料品、ファッション雑貨、生活雑貨、食品…… 幅広い商品をオリジナルで企画・販売しています

ピープルツリーの商品は、自社スタッフがデザインしています。日本の市場できちんと売れるように、トレンドや流行をチェックし、マーケティングを行います。一方で、現地の伝統手法である手仕事を積極的に採用するよう努めています。生産者たちははやり廃りの激しい流行を追いかけるよりも、独自に持っている技法を活かして継承することで、ほかにはない個性的なもののづくりをしています。



世界初！WFTO（世界フェアトレード機関）による フェアトレード保証ラベルを取得



ピープルツリーは1996年からWFTOに加盟しています。WFTOは世界中のフェアトレード団体が1989年に作った国際的な組織（当時の名称はIFAT）。2013年には、原料から生産の各工程まで、WFTOが定めた「フェアトレードの10の指針」が守られていることを示す「フェアトレード保証」認証を世界で初めて取得し、製品に認証ラベルをつけて販売を開始しました。



18カ国、約130の団体と取引しています

商品生産を依頼したり、原材料を買い付けているのは、インド、バングラデシュ、ネパールなどの18カ国。糸を紡いだり、生地を手織りしたり、染めたり、刺繍をしたり……多くが洋服づくりに関わっている人たちです。2～3人の小さなグループから、100人以上の団体まで、さまざまなつくり

手と仕事をしています。そして日本では直営店（東京・自由が丘）を展開。卸先の3,050店舗&75媒体で購入可能です（台湾1店舗含む・2017年5月現在）。さらに姉妹会社、ピープルツリーリミテッドではEU16カ国の300店舗、北米、アジア5カ国の50店舗に卸しています。



「ピープルツリーとは？」

フェアトレード・ファッションのパイオニアです

ピープルツリーが活動を開始した1991年ごろのフェアトレード商品というと、コーヒーやチョコレート、バナナといった食品や、手工芸品ぐらいしかありませんでした。ファッションアイテムなら、農産物よりも工程が多いので、より多くの人びとの雇用につながるほか、デザインによって付加価値が高めやすいと、ピープルツリーは考えました。ただ、民族調のアイテムは好きな人が限られてしまうため、それだけでは販売数も限られてしまいます。そこで、もっとフェアトレードを広めるために、日本人が毎日着られる洋服づくりを目指して、オリジナルの商品開発に挑戦しました。試行錯誤のうえ、今ではオフィスに着て行けるようなアイテムも取り揃えています。



デザイナーや企業とコラボしています

エシカルに関心の高い企業やデザイナーの想いを、コラボレーションすることで、具体的に形にする取り組みを行っています。つくり手にとってもチャレンジで、クオリティや創造性の向上にも役立っています。

これまでの
コラボ実績

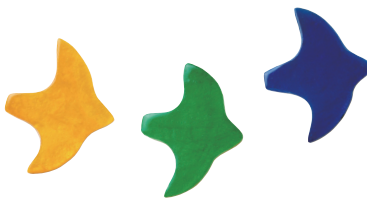
ヴィヴィアン・ウエストウッド
オーラ・カイリー
ザンドラ・ローズ
V&A
BBC Earth
ツモリチサト
ピーター・イェンセン
堀口尚子
Lee
ローラアシュレイ ほか



Peter Jensen



HORIGUCHI
NAOKO.



Zandra Rhodes

できるだけ、オーガニックにする理由

オーガニック(有機)農法は、化学合成した肥料や農薬を使わずに栽培する農法のこと。有機農法は手間と時間がたくさん必要ですが、農薬による健康被害や土壌汚染、水質汚染の心配がありません。農家の人びとの健康と環境を守り、維持可能な生産のためにも、ピープルツリーは有機農法を推進しています。

オーガニックコットン



世界初！ 途上国で生産されたオーガニックコットン製品のGOTS (オーガニック・テキスタイル世界基準) 認証を取得

GOTSとは、原材料がオーガニックであるだけでなく、生地を生産・加工・保管・流通のすべての過程で、第三者機関が調査のうえ、基準を満たした商品に与えられる認証です。ピープルツリーはイギリスの認証機関ソイル・アソシエーションから認証を得ています。

ひとつのアイテムのオーガニックコットンの含有率は、100%のアイテムがほとんど。それ以外でも含有率は95%以上で、「ストレッチ素材」や「強度が必要な縫製の糸」などの使い心地を重視するための理由があるものばかりです。



アシシ・ガーマンツ (インド)



エル・セイボ (ボリビア) ©Miki Alcalde



メル・ハーブ (ケニア)



マカイバリ茶園 (インド) ©Makaibari Japan

オーガニック食品

カカオ豆はボリビアの「エル・セイボ」、ハーブティやジャムはケニアの「メル・ハーブ」など、世界中のオーガニック栽培を推進している団体の原料を使っています。



[有機JAS認証]

有機食品がJAS規格(日本農林規格)に沿った生産がおこなわれていることを登録認定機関が検査し、認定された事業者のみが有機JASマークを表示することができます。



フェアトレード
チョコレート
エル・セイボ
(ボリビア)



コーヒー
ヨクラ
(ペルー)



ハーブティ
メル・ハーブ
(ケニア)



紅茶
マカイバリ茶園
(インド)

ピープルツリーが守る 「フェアトレード 10の指針」

日本で、「フェアトレード」という言葉を知っている人は約5割、貧困問題・環境問題と関連付けて理解している人は、3割弱ほど。

(2015年6月 日本フェアトレード・フォーラム調査)

「フェアトレード」は、貧困問題と環境問題をビジネスの仕組みの中で解決しようとする取り組みです。ピープルツリーでは、WFTO(世界フェアトレード連盟)が定めた「フェアトレード10の指針」を守り、人に優しい、環境にも配慮した持続可能なものづくりによって、フェアトレードを実践しています。

1

Creating Opportunities
for Economically
Disadvantaged producers

仕事の機会を
つくる

ピープルツリーは貧しい国々の約130団体と取引し、より多くの人びとが働けるように、手織りや手編みなどの手仕事をできるだけ採用しています。つくり手は仕事をすることでお金を得るだけでなく、プライドや自信、未来への安心感も得られます。

2

Transparency and
Accountability

どこで誰が
つくっているかを
把握する

すべての商品について、どこの誰がつくったものかわかるように、常につくり手と連絡をとりながら進めています。また、困っていることがないか、技術支援やサポートできることがないか、実際に現地を訪ねて確認しています。

3

Fair Trading Practices

安定した
仕事の依頼をする

こちらの都合のみで発注先を決めるのではなく、つくり手に仕事を依頼することが商品づくりのスタート。それぞれの得意分野を理解し、継続した発注ができるように商品開発するのが、私たちに課せられたタスクです。

4

Payment of
a Fair Price

適正な金額を
支払う

つくり手とピープルツリーは話し合い、両者が納得の上で対価を決めます。それぞれの地域で平均的な生活ができるだけの賃金と製作にかかる時間、日本のお客さまに納得いただける商品価値などをふまえて、価格を決定しています。

5

Ensuring No Child Labour
and Forced Labour

児童労働も 強制労働もない世界

私たちのつくり手は仕事に誇りと希望を持って、自分たちの意思で働いています。人権を尊重しない団体とは取引しません。子どもたちは教育を受けることで、未来の選択肢が広がり、貧困のスパイラルから抜け出すきっかけになると信じています。

6

Commitment to Non Discrimination,
Gender Equity and
Women's Economic
Empowerment, and
Freedom of Association

差別をせず、 男女平等と 結社の自由を守る

人種や階級、国籍、宗教、性別や政治的信条など、あらゆる面において差別をしません。女性や障がい者など、途上国の中でも特に立場の弱い人たちが働く団体と取引しています。

7

Ensuring Good Working
Conditions

安全で健康的な 労働条件を守る

現地の法律や世界労働機構（ILO）の条件を守り、長時間労働をさせない、清潔な水やトイレを確保するなど、当たり前の労働環境を整えます。健康や安全についての意識を高められるよう、パートナー団体にアドバイスも行っています。

8

Providing Capacity
Building

個人や団体の 能力を伸ばす

商品づくりの技術や運営方法など、パートナー団体が抱えるさまざまな問題を一緒に解決できるよう、ピープルツリーはお手伝いします。ときにはパートナー団体同士を繋いで、情報交換をしてもらうことで、解決策を導き出すこともあります。

9

Promoting Fair Trade

フェアトレードを 広める

フェアトレードの意味や目的、必要性をより多くの人に知ってもらえるよう、情報発信をしています。つくり手の紹介を商品タグに入れたり、イベントやブログで語ったり…。カタログもその一端を担っています。

10

Respect for the
Environment

環境を 大切にする

それぞれの地域で採れる自然素材を最大限に活用し、オーガニックや減農薬など環境負荷の低い方法を採用しています。梱包にはリサイクル素材や生分解可能な素材を選び、輸送にはエネルギー消費やCO₂排出の少ない船便をできる限り使っています。

「ピープルツリーが実践しているフェアトレード」

人を大事にする

機械に頼るのではなく、「人の力」こそ大きな資源と考えてものづくりをしています。こちらの都合のみで仕事を発注するのではなく、つくり手と対等な立場で、話し合いをしながら商品企画を進めていきます。

1 手仕事を活かす

手仕事なら、綿を摘む、糸を紡ぐ、生地を織る、糸や生地を染めるなどの工程ごとに人が関わることができるので、多くの人の雇用につながります。また、電気に依存せずに製品を生み出すことができるのもメリット。停電が多く、電気の供給が安定しない地域では、電気に頼ったものづくりをしてしまうと、かえって仕事にならない場合もあります。手仕事を活かすことは、地域に残る伝統的技法を継承することにも役立ちます。



- 手織り
- 手刺繍
- ブロックプリント
- 手編み
- 草木染め
- オーガニックコットン

【手仕事&OCマーク】
手仕事による商品、またはオーガニックコットン(OC)を使用した商品は、タグにマークをつけて、お客さまにお伝えしています。マークには左の6種類があります。

商品につけられるタグには、WFTOの保証マークやGOTS認証マークのほか、商品と一緒に、「誰が」「どこで」「どのように」つくったのかという情報も発信します。そうすることで、つくり手と消費者をつなぐ、持続可能なライフスタイル・プロデューサーの役割を果たしています。

手編み

ネパールやインドの女性が得意とする仕事のひとつである手編み。糸と編み針さえあれば、どこでもできる仕事のため、育児や家事をしながら、学校に通いながらなど、時間をうまく使って働くことができます。ウールやコットンだけでなく、バナナファイバーやアローといった繊維を使って、幅広い商品をつくっています。



手織り

洋服やバッグ、スカーフなどに、インド、バングラデシュ、ネパールの伝統技法を使った手織りの生地を取り入れています。機械織りに比べて多くの雇用を生むほか、電力などのエネルギーの消費も少なく、CO2の排出も少ないため、環境負荷の低い生産が実現できます。

手刺繍

手刺繍の技術を受け継ぐインドやバングラデシュの職人を支援し、文化的な慣習から家の外で働くことが難しい女性たちに仕事の機会をつくっています。心を込めてひと針、ひと針、繊細な模様を仕上げていきます。





スクリーンプリント/ シルクスクリーン

スクリーンプリントは木枠に布の版を張り、上からインクをのせて一気に刷る技法。これもインドやバングラデシュのつくり手が手作業で行っています。1色につき、ひとつの版が必要なので、刷っては乾かしを繰り返してできあがります。



ブロックプリント

職人が手彫りした堅い木版を使い、手押しで染めていくブロックプリント。インドやバングラデシュの洋服や紙製品などに、この伝統的なプリント技法を取り入れています。版を重ねることで完成する、味わい深い模様をお楽しみください。



アクセサリ

アクセサリのほとんどを、パーツから手作りしています。真鍮のチェーンやフックはケニアから、インドではガラスビーズを、フィリピンではカビス具を加工しています。ほかにもクロシェ編みや羊毛フェルトを使っているものもあります。



草木染め

同じ材料を配合しても、季節や天候によって色が異なり、世界にひとつだけの表情を持つ草木染め。手軽で安価な化学染料の広まりで、インドやネパールでは働く場を失った職人も数多くいます。木の皮や実、鉱石などを使い、手間ひまかけて仕上げた天然染料の製品をお届けします。



手漉き紙

インドやバングラデシュで手に入りやすいホテイアオイ(水草の一種)やジュート、バナナの皮など、生長の早い植物や繰り返し収穫できるものを使ってつくる手漉き紙。原料を煮て繊維を取り出し、紙を漉いて乾かし、スクリーンプリントやブロックプリントで印刷……。味わい深い紙は、多くの工程を経て、完成します。

陶器(テラコッタ)

素朴な表情が楽しめるインドやバングラデシュ、ネパールでつくられている陶器。その土地にある粘土を使い、薪やガスの窯で焼き上げます。テラコッタの鉢や小物入れ、蚊取り線香ホルダー、ブローチなど、さまざまなアイテムが揃います。



「ピープルツリーが実践しているフェアトレード」

2 現地に行って、コミュニケーション

ピープルツリーでは年に数回、インドやバングラデシュ、ネパールを中心にパートナー団体を訪問しています。もちろん、ただの視察ではありません。日本の市場で売れるためのものづくりを実現するために、一方的な要求をするのではなく、つくり手たちが抱えている問題を見つけ、さらにレベルアップできるよう、一緒に解決していきます。

現地訪問の際にしていること

- 商品づくりの進行状況や問題点を確認
- 日本で返品や不良品になった商品のどこが問題だったかを伝達
- どうしたら解決できるかを話し合う
- 具体的な作業の技術指導
- 排水設備や食堂、トイレなどの職場環境のチェック



長くお付き合いを続けるうちに、単なるビジネス上のやりとりだけでなく、お互いのプライベートな近況を報告し合う、家族のようなつながりも生まれます。

3 必要な場合は、前払いをすることも

多くのつくり手たちは担保となる資産を持っていないため、資金の借入れを断られてしまいます。たとえ融資をしてくれる金融機関があったとしても、利息は15～20%と高額に。そのため、つくり手たちは仕事を始めるための技術や能力があっても、一般的なビジネスのシステムではそ

れを活かすことができません。フェアトレードが支援するのは、まさにそういった弱い立場にある人びとです。発注額の一部を前払いすることで、小規模な農家や生産者団体が資金繰りに困らないようにし、納期に遅れることなく商品を生産できるように支援しています。

4 無理のない生産期間を確保するために、早めに発注

ピープルツリーの展示会は、該当シーズンの約1年前に開催。通常のアパレルブランドよりかなり早いタイミングで発注をしています。手仕事によるものづくりをしているため、生産に時間がかかるからです。早めに注文を取りまとめることで、商品を確実にお届けするための生産時間を確保しながら、つくり手に安定した収入の機会を提供することができます。こうしたフェアトレードの取り組みによって持続的な生産が可能になり、バイヤーの方やお客さまとも長いお付き合いが実現します。



2019年秋冬コレクションの展示会は、2018年11月に開催されました。

5 地域コミュニティも支援

フェアトレードでは、働き手だけでなく、その家族や地域のコミュニティにも利益を還元しています。教育施設や病院の運営、貯水池の修復など、それぞれのコミュニティが必要としていることをサポートしています。



クムディニ福祉財団 (バングラデシュ)
低所得の人びとが無償で利用できる病院を運営。彼らの健康をサポートしています。



クムベシュワール職業学校 (ネパール)
地域の貧しい家庭の子どもたちが無料で通える小学校を運営。学ぶことで将来の選択肢が増え、貧困のスパイラルから抜け出すきっかけに。



タナバラ・スワローズ (バングラデシュ)
子どもを持つ女性が安心して働けるように、就学前の子どもを預かる託児施設を支援。シングルマザーも安心して働くことができます。

6 寄付つきのアイテムも

フェアトレードはチャリティーではありません。継続的に仕事を依頼することで、安定した暮らしができるようにする、ビジネスの仕組みです。ですが、地域やコミュニティで特に支援が必要な活動については、母体NGO グローバル・ヴィレッジと連動して、パートナー団体に寄付しているものもあります。



タラ・プロジェクト (インド) のアクセサリーのお買い上げ100点ごとに30USドルを、児童労働に従事する子どもたちへの教育支援のため寄付しています。

環境を大事にする

持続可能なものづくりをするためにも、環境にも配慮しています。現地で調達しやすく、自然に還る天然素材、安全な素材を使って、環境負荷の少ない生産や運搬の方法を採用しています。



ジュートは4か月ほどで草丈が2~3mになる一年草。生地や糸をつくる際に出る余剰繊維を活用した手漉き紙の封筒やカード。

紙製品はジュートやホテアオイなど、木材以外の原料を使用。木製品は廃材やFSC認証のものを利用したり、竹などの生長の早い木を使ったり、洋服のボタンには繰り返し収穫できるココナツの実やコロソナツの種子を使ったりしています。ちなみにカタログの用紙は環境に配慮したFSC森林認証紙です。

オーガニックコットン
そのままの色を生かした
生成りのベビーアイテム。



ブロックプリントの製品をつくっているインドの小さな生産者団体では、浄水設備を手作り。プリントによる排水をすべて浄水することが可能になりました。

つくっている過程で蛍光増白剤や塩素漂白は使っていません。糸や生地を染めるときには、排水に気を配るようにアドバイスしています。なかにはピープルツリーが支援して排水処理施設をつくった団体もあります。

水を汚さない

森を壊さない

環境 ポリシー



エネルギー効率やCO₂の排出量を考え、商品の輸送には、できるだけ船便を使っています。

人と命を守る

生地や糸を染めるのは、発がん性物質を含まないアゾフリーの染料と天然染料です。日本では2016年の4月からアゾ染料(特定芳香族アミン)を使用した繊維と革製品の規制を厚生労働省が始めましたが、ピープルツリーでは1998年からアゾフリーにこだわっています。



染める人、使う人、どちらにもやさしいアゾフリーの染料。

空気を汚さない

燃やすとダイオキシンを出すプラスチックをできるだけ使わないようにしたり、輸送には可能な限り船便を使ったりしてCO₂の排出を抑えています。

無駄にしない

製品や梱包には、リサイクル素材やリサイクルできるものを使っています。

民族衣装のサリーをアップサイクルしたりリサイクルサリーシリーズ。洋服やバッグなども揃います。



会社概要

■名称	フェアトレードカンパニー株式会社
■設立	1995年1月、環境保護と途上国支援を目的とした、ビジネスの実践と普及を目指して設立
■設立者	共同創設者 サフィア・ミニー & ジェームズ・ミニー
■代表者	代表取締役社長 ジェームズ・ミニー
■従業員数	48名
■資本金	6,000万円
■売上高	8億1,681万円 (2021年)
■事業内容	人と地球にやさしい衣料品、服飾雑貨、日用雑貨、食品等の商品開発および輸入・販売
■主要取引先	株式会社三越伊勢丹 イオンリテール株式会社 株式会社アーバンリサーチ 株式会社マッシュピューティーラボ 株式会社スタイリングライフ・ホールディングス 株式会社アクタス 株式会社アバハウスインターナショナル 株式会社ウェルカム ブルーブルーエ株式会社 株式会社アミング オイシックス・ラ・大地株式会社 株式会社がいあプロジェクト アリサン有限会社 株式会社ナチュラルハウス 株式会社山星屋 三菱食品株式会社 三井食品株式会社 株式会社ラクーンコマース 他、全国約500軒の小売店
■取引銀行	三井住友銀行、城南信用金庫、商工組合中央金庫、三菱UFJ銀行

沿革

1991年 11月	環境・国際協力NGO「グローバル・ヴィレッジ」発足
1993年 10月	フェアトレード商品の通信販売を開始。カタログ名「アース・カタログ」
1995年 1月	グローバル・ヴィレッジのフェアトレードの事業部門を法人化し、「フェアトレードカンパニー株式会社」を設立
1996年 10月	IFAT (国際フェアトレード連盟) ※に加盟 ※2009年より、WFTO (世界フェアトレード連盟) に改称
1998年 4月	直営店「ザ・フェアトレード・カンパニー」※を東京・自由が丘にオープン ※現「ピープルツリー 自由が丘店」
2000年 2月	ブランド名を「ピープルツリー」に決定、直営店と通販カタログの名称を同名に変更
2003年 6月	IFAT 国際会議でフェアトレード団体認証制度発足。フェアトレード団体として認証を受ける
2004年 9月	共同創設者サフィア・ミニーがスイスの「シュワブ財団」により、「世界で最も傑出した社会起業家」のひとりに選出される
2007年 4月	モードファッション誌「VOGUE JAPAN」6月号誌上にて、ニューヨーク、ロンドン、東京の4デザイナーとのコラボレーション作品を発表。また、ビルケンシュトック「TATAMI」とのコラボレーションサンダルも発売
2008年 1月	ロンドンに持株会社「People Tree Fair Trade Group」が設立。グループ会社体制に
2009年 6月	フェアトレードとファッション業界への功績が認められ、共同創設者サフィア・ミニーがイギリス政府より大英帝国勲章第5位 (MBE) を授与される
2010年 3月	イギリスの女優エマ・ワトソンとの特別コラボレーション企画によるコレクション発売開始
2013年 9月	WFTOによるフェアトレード保証制度の認証を世界で初めて取得
2014年 9月	インドからオーガニックコットンの原綿を輸入し、国内で紡績、染色、縫製したLeeとのコラボデニムを発売
2015年 6月	共同創設者サフィア・ミニーも登場するドキュメンタリー映画『ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償』が全世界公開
2015年 12月	代表取締役社長に共同創設者ミニー・ジェームズが就任
2017年 3月	フェアトレードチョコが「ソーシャルプロダクツ・アワード (SPA) 2017」の「国際部門大賞」を受賞。ウエディングドレスとリサイクルサリーも「ソーシャルプロダクツ賞」同時受賞

■ オフィス



People Tree

フェアトレードカンパニー株式会社

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-1-16-3F

Tel: 03-5731-6671 (代表)

Fax: 03-5731-6677

www.peopletree.co.jp

■ ショールームのご案内

お取引をご希望の方は、ショールームにて商談が可能です。(要予約)

Tel: 03-5731-6673 (卸直通)

E-mail: oroshi@peopletree.co.jp

営業時間 月-金 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日は休み)

■ 直営店

自由が丘店

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘3-7-2

Tel: 03-5701-3361

ピープルツリーのフラッグシップ・ショップ。広々とした店内には、最新コレクションが勢揃い。衣料品からアクセサリ、雑貨、食品まで1,000点以上の商品が並びます。ドレスの試着、ギフトのセレクトなど、エシカルウエディングのご相談も随時承っております。



■ 全国の取扱店 http://www.peopletree.co.jp/shop_oroshi/

全国に広がるピープルツリーの取扱店を、ホームページからご覧いただけます。

フェアトレード専門店をはじめ、こだわりの雑貨店、自然食品のカフェなど、その業態はさまざまです。

